

# プログラムデザインコース

## ■ 産業廃棄物のリサイクル見学 ～地球の資源を大切に環境教育～

研修実施者： 藤クリーン株式会社  
[<https://kk-fuji-clean.jp>]

日 時： 2022年1月28日（金） 10:00～16:20  
会 場： 藤クリーン株式会社リサイクルセンター  
定 員： 25名

講 師： 中平 徹也 氏 [藤クリーン(株) 顧問、環境教育アドバイザー/環境カウンセラー]  
田丸 和美 氏 [村岡ガーデンクラブ 代表、環境デザイナー]  
小林 未侑 氏 [藤クリーン(株) 産廃部]  
初本 さつき 氏 [藤クリーン(株) 産廃部]  
岡本 弥彦 氏 [岡山理科大学 教育推進機構教職支援センター 教授]

\*\*\*\*\*

集 合 時 間： 10:00（受付9:30～10:00）  
集 合 場 所： 藤クリーンリサイクルセンター [岡山市南区藤田 1664-8]

ア ク セ ス： ①無料送迎車（岡山駅 ⇄ 藤クリーンリサイクルセンター ※所要時間約1時間）  
朝： JR岡山駅前9:00 出発予定 夕： 藤クリーンリサイクルセンター16:20 出発予定  
②マイカー利用（※駐車場無料）

### プログラム（予定）

	受付（9:30～10:00）
10:00	開講、オリエンテーション（講師自己紹介、参加者自己紹介など）
10:30	会社説明・コンケングループによる体験型環境教育について
11:00	リサイクルセンター及びコンケンガーデン見学、質疑応答 ※雨天時の対応（見学を学びの部屋でのLiveカメラにて実施）
12:00	昼食（お弁当持参 or 地域食材のお弁当（有料））
12:45	再生処理土等を使ったこけ玉作り
13:40	企業、事業者と学校をつなぐワンポイントアドバイス
14:10	企業、事業者と学校をつなぐプログラムに関するワークショップ
15:30	ふり返り
15:45	アンケート記入、閉講 ※16:20解散（送迎バス出発）

- ※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。
- ※ 研修実施中はマスク着用を必須とします。
- ※ 「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」は、岡本弥彦先生からお話を伺います。
- ※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

# プログラムデザインコース

## ■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

私たちコンケングループは、建物の解体工事を行う株式会社コンケン、産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分を行う藤クリーン株式会社、再生品を活用し、シイタケ・ブドウ・野菜を育てる株式会社藤ファームの3社で構成されています。つまり、建物の解体から産業廃棄物の処理、再資源化まで一貫した事業を手掛けているのです。

そのうち、藤クリーン株式会社では、岡山市街地から比較的近い場所に約 13,000 平方メートルのリサイクルセンターを保有し、コンクリートガラ、木くず、建設汚泥、廃プラスチック、混合廃棄物選別などのリサイクルプラントを1カ所に配置して、リサイクルに力を入れています。現在のリサイクル率は約 90%ですが、研究開発室での廃棄物混じりの残渣に関する研究やRPF（固形燃料）成形プラントの活用等により、95%に引き上げることを当面の目標にしています。

また、私たちの事業はどうしても騒音やほこりが発生し、周辺住民の皆さんにご迷惑をお掛けしてしまいます。地元の皆さんのご理解なしには事業を続けることができない中、少しでもご恩返しができるようにとりサイクルセンター周辺の清掃活動等にも取り組んでいます。2017 年からはESD 活動に取り組み、現在の SDGs 活動に繋がっています。2020 年5月にはリサイクルセンター見学を通じた環境教育の場提供を環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に岡山県下で初めて認定いただきました。重機等が行き来するリサイクルセンター内を安全に楽しく見学できるように、緑の歩行ゾーンの明示、クレーン数台に恐竜のラッピング、目に優しい緑の植栽を設置するなどしています。コンクリートガラが砕かれて再生砕石や再生砂になったり、廃木材が燃料としての木チップになるなど、普段あまり目にする事のない産業廃棄物がリサイクル品に生まれ変わる様子やリサイクル品を活用したコンケンガーデンで植物や生物が生き活きと暮らしている様子を見学したり、再生処理土や粉砕された量などを活用したこけ玉作りを楽しむことでリサイクルの大切さや可能性、自然環境保全の大切さを体験していただくことができます。授業や本で学んだことを実際に体験することで環境問題を自分事としてとらえ、一人一人が環境に優しい行動を始めるきっかけにしていただくことが期待できます。

私たちは今後も、限りある地球の資源を大切にする会社として「環境価値創造企業」を目指してまいります。

